

採択された共通ルール（具体的取組内容）は必須条件です。具体的取組み内容は全て記入し、対象住宅がこれらの内容に適合していることを確認してください。

様式15(建築物)  
1の対象建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象建築物について申請する場合はシートを追加して作成してください。

要件への適合確認書(実績)【補助事業者記入用】

・対象建築物の建築主

建築主氏名	◆田 ■郎、◆田 ●子
-------	-------------

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「、」で区切ってください。

・採択された要件の確認(1)～【地域材】

使用した地域材	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称
※採択された地域材のうち、対象建築物で使用した地域材を記入してください。	〇〇県産材	〇〇県	〇〇県産材認証制度
	合法木材	国内・海外	合法木材証明制度

↑ 適用申請書 様式2-1のA欄に記載の地域材の名称、産地、認証制度等の名称のうち、ものを記入してください。※行が足りない場合は、この様式を複数枚作成してください。

採択された要件の確認(2)～【グループの共通ルール】

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与	①地域材ごとの使用部位(必須)	〇〇県産材、△△県産材及び合法木材証明制度を、主要構造材(柱・梁・桁・土台)に使用
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	〇〇県産材、△△県産材を、主要な構造材の70%程度使用する。
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半にグループ指定の地域材を使用し、柱は4寸角以上の材を使用する

適用申請書 様式3-1～3の「4.地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み」欄に記載の取り組みの内、木造住宅に関する内容を要約して記入してください。

・グループ事務局及び申請事業者の確認

今回、補助金交付申請を行う対象建築物について、採択要件(共通ルール)に適合していることを確認いたしました。

グループ事務局担当者名	確認欄	申請事業者担当者名	確認欄
長 二郎	○	長持 住夫	○

対象建築物について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認欄に「○」を記入してください。

対象建築物の要件の確認(3)～【木造建築物が取得した認定または評価等】

対象建築物が取得する認定または評価等(次のいずれかに「○」)

※2)の場合は付加要件を選択

1) 所管行政庁による認定低炭素建築物の認定	○
2) 評価機関による建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)の評価(次のいずれかに「○」) ※	○
BEIの値が0.9を超え1.0以下(★★)	○
BEIの値が0.9以下(★★★以上)	
3) 認証機関等の第三者による建築環境総合性能評価システム(CASBEE)の認証(建築物の環境効率(BEEランク)1.0(B+)以上)	
2) 評価機関による建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)の評価の場合の付加要件 (BEIの値が0.9を超え1.0以下(★★)の場合は2項目、BEIの値が0.9以下(★★★以上)の場合は1項目を選択し「○」)	
a) 外皮の基準が「エネルギーの使用の合理化に関する建築主及び特定建築物の所有者の判断の基準」に定める省エネルギー基準相当	○
b) ビル・エネルギー・マネジメント・システム(BEMS)を設置	
c) 太陽光等再生可能エネルギー発電設備及びこれと連携した定置型蓄電池を設置	
d) 「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく日本住宅性能表示基準に定める劣化対策等級3相当	
e) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)に基づく建築物移動等円滑化基準を満たしている	
f) 内外装木質化(次のいずれかに「○」)	○
床・壁、天井などの内装について、床面積の過半の面積を地域材による仕上げ	
外壁の見付面積の過半の部分を地域材による仕上げ	

この用紙の大きさは、日本建築規格に準拠しています。

【H27】建築物 地域型住宅グリーン化事業 採択要件への適合確認書(実績)

適用申請書様式2-1 A欄に記載した地域材の名称、産地を正確に記入してください。

対象木造建築物が取得する認定または評価等のいずれかに「○」を記入してください。

2) の場合  
いずれかに「○」を記入してください。

2) の場合  
評価結果に応じて  
1項目または2項目  
に「○」を記入してください。

f) の場合  
いずれかに「○」を記入してください。

使用する様式は正しいですか。  
【H27】建築物と記載されている  
様式を使用してください。

【様式10】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

適用申請書様式3-1～3の「具体的取組内容」欄と同じように記入してください。  
記入箇所違い、誤記、具体的取組内容以外の記載、等の間違いが多いので注意してください。

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認者と確認欄に「○」を記入してください。